

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都奉製株式会社 福知山奉製所	階数	地上2F
建設地	京都府福知山市三和町みわ小字工	構造	S造
用途地域	無指定	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2018年4月2日
敷地面積	13,277 m <sup>2</sup>	作成者	徳丸弘幸
建築面積	4,356 m <sup>2</sup>	確認日	2018年4月24日
延床面積	6,271 m <sup>2</sup>	確認者	柏原崇史

外観ベース  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE=0.5 ★★★★★</p> <p>S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★ B:★★★ C:★</p> <p>環境効率 BEE</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み #DIV/0!</p> <p>③上記+②以外の #DIV/0!</p> <p>④上記+ #DIV/0!</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2.4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 0.0	Q2のスコア= 0.0	Q3のスコア= 2.4
<p>音環境 熱環境 光環境 空気質環境</p>	<p>機能性 耐用性 対応性</p>	<p>生物環境 まちなみ 地域性</p>

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.2

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 2.0	LR2のスコア= 2.5	LR3のスコア= 2.2
<p>建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的</p>	<p>水資源 非再生材料の 汚染物質</p>	<p>地球温暖化 地域環境 周辺環境</p>

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>一棟で作業場と倉庫の用途があり作業場部分は壁、天井へ断熱材、窓はペアガラスを採用し、できる限り空調負荷の低減に配慮する。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>仕上げ材料は全てF★★★★とする。</p>	<p>Q2 サービス性能</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地延長の50%以上を緑地部分として景観に配慮した維持管理とする。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>評価対象となる室のLED照明器具、昇降機、太陽光発電設備について配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>可能な限り節水型器具を採用し、有害物質を含まない材料を使用する。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地外に路上駐車させないよう適切な駐車スペースを設ける。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される